

会 議 の 概 要

1 会 議 名	平成27年度第1回文化財審議会
2 開 催 日 時	平成27年7月10日（金）10時15分～12時00分
3 開 催 場 所	宝塚市立中央図書館 研修室
4 出 席 委 員 [■出席 □欠席]	■足立委員 □森委員 ■永田委員 ■喜多委員 ■橋本委員 ■服部委員 ■門田委員
5 傍 聴 者 数	0 人
6 公 開 の 可 否	■ 可 □ 不可 □一部不可
7 議 題 及 び 結 果 の 概 要	<p>◆報告事項</p> <p>〈1〉事務局より「宝塚市文化財遺跡分布地図及び地名表（改訂第3版）」配布についてと、新たに間歩を包蔵地として追加した旨、報告。</p> <p>〈2〉服部委員より、満願寺の照葉樹林の伐採についての報告があり、宝塚市と川西市との天然記念物指定範囲の境界を明確にして欲しいとの要望がある。また、昨年より森の一部にナラ枯れがあるとの報告があり、現在本市農政課を通じて県農林等をお願いしている旨、報告。</p> <p>〈3〉足立委員より旧松本邸の本格修理について要望と報告。</p> <p>◆議題</p> <p>〈1〉近世絵図の市文化財指定について</p> <p>〈2〉鉄斎美術館所蔵の鉄斎筆『富士山図』について</p> <p>◆その他</p> <p>〈1〉高添邸の国登録有形文化財への登録について</p> <p>〈2〉西谷のちまきについて</p> <p>◆審議結果の概要</p> <p>〈1〉今現在、市で把握している絵図についてのリストアップ及び寄託寄贈の資料を把握するため、下記のことを行った。</p> <p>◎宝塚市立中央図書館市史資料室で保管している絵図の現状と、寄託寄贈の有無について、市史資料室より説明</p> <p>◎絵図の保管場所の視察</p> <p>◎質疑応答</p> <p>◎絵図所有者に同意書を取りながら、市文化財指定することに決定</p> <p>〈2〉鉄斎美術館所蔵の鉄斎筆『富士山図』について把握するため、下記のことを行った。</p> <p>◎富岡鉄斎について説明</p>

	<p>◎鉄斎美術館の意向として市指定、できれば国指定まで行 いたい旨の経緯を説明</p> <p>◎質疑応答</p> <p>◎鉄斎美術館学芸員と専門家で継続調査</p> <p>※〈1〉・〈2〉の主な内容については別紙のとおり</p> <p>その他〈1〉・〈2〉については、専門家と継続調査を進め ることに決定。</p>
--	--

平成27年度 第1回文化財審議会の会議議事要旨

開催日時 平成27年7月10日 10時15分～12時00分
開催場所 宝塚市立中央図書館 研修室
出席委員 足立委員・永田委員・喜多委員・橋本委員・服部委員・門田委員

議題

〈1〉近世絵図の市文化財指定について、市で把握している絵図についてのリストアップ
及び寄託寄贈の資料を把握するため、下記のことを行った。

(1) 市で把握している絵図の現状について、中央図書館市史資料室より説明
市史資料室より

- ・山本自治会所蔵の絵図に関して、市史職員と山本自治会会長との会談により寄託
の意志を確認できた旨、報告する。
- ・平井地区の乾氏所蔵の絵図に関しても、寄贈の意志を確認する。

事務局より

- ・計20件の絵図の寄託寄贈の話がほぼ固まり、市指定に向けて話を進めたい旨、
報告する。

(2) 質疑応答

(委員)

まとめて指定できるのは大変良いことだと思いますが、保存の仕方と安全性は
大丈夫でしょうか。

(市史)

保管場所としては、図書館の美術書庫に置く予定にしています。そこは、鉄斎美
術館から寄贈していただいた貴重な絵画等を保管している所です。

(委員)

- ・作成時期を欠年とするのではなく、可能な限り年代を入れ、分からなければ(推

定) と入れてはどうでしょうか。

・あと、公開方法はどうかされるのでしょうか。この指定の中で、活用される資料になり得るとありますが、デジタル化されたりはされるのでしょうか。

(市史)

デジタル化も進めております。

(委員)

かなり傷んでいるものは、修復されるのでしょうか。

(市史)

修復を予定しております。

(3) 審議会終了後、美術書庫を視察。

〈2〉 鉄斎美術館所蔵の鉄斎筆『富士山図』について把握するため、下記のことを行った。

事務局より

- ・富岡鉄斎について説明。
- ・鉄斎美術館より『富士山図』を市指定、最終的には国指定まで行いたい旨、報告する。

(1) 質疑応答

(委員)

鉄斎の作品は市指定とかいう事を遥かに超えた作品である。今現在、この『富士山図』がどのレベルで指定を待っている状態なのかというのがあります。また、この作品についてどれだけの論文が書かれ評価されているのか。研究史の中でどう位置づけされているのか、資料を集めて考えることが必要になって来ると思います。

(事務局)

来年、鉄斎生誕180周年となり県立美術館で、鉄斎の企画展を計画されており、そこに展示されるということで、その展示会に市指定と銘打ちが出来ればというお話です。

(委員)

鉄斎美術館の学芸員の方は、ある程度見込みを付けておられると思いますので、市指定と県もしくは国指定の作品とを絞っていただいた方が良いと思います。また、もっと鉄斎美術館と協力して、リストを挙げていただいて、専門家の先生と鉄斎美術館学芸員との評価を分けた方が良いでしょう。

(委員)

市指定から手順を踏むと非常に時間がかかってしまうので、いつそ国の次の委員会がいつなのか聞いて、そこへ挙げてしまった方が生誕180年に間に合うと思います。それぐらいの意義付けをしておかないと、市の審議会で時間を取られるのは勿体ないです。今年度の国指定の審議会の日程もありますので、候補を出す

のであれば今がギリギリではないかと思います。

(委員)

もう少し話を詰めて、専門の先生と鉄斎美術館学芸員とでかなり詰めてもらった段階で、文化庁に直接働きかける段取りを具体的に詰めた方が良いと思います。折角生誕180周年というのを考えておられるのであれば、あまりゆっくり出来ません。鉄斎美術館のコレクションなら真贋も心配ないと思いますので、そのつもりで対応していくのはどうでしょうか。